學者政治家が 新法案を八方攻め

昨夜青年會館に活氣溢る 悲觀なき過激運動取締

「我々は決して無政府主義或は共産主義を鼓吹せんとする者ではない、然し實狀不徹底なる取締法を制定して之を葬らんとするは惡法第廿九條を如何に解釋の自由擴張も出來なくなる新聞紙も現狀の事實を網羅し得なくなるではないか…」一日夜神田の青年會館で開かれた過激社會運動取締法案反對演說會で我國最初の新人星島代議士は先づ斯く述べて開會を宣した、次で大山郁夫博士は「政府は過激思想の普及と階級鬪爭を恐れて居るが、此法案の實施は却て此傾向を激成せしむると共に以上の階級意識を高潮する結果となる文化は自由思想の流れの如何に依つて其の程度が決る」と喝破し「今日政府は新進の思想を否認するが否認するを得ない制度に改造し たらどうか例へば民衆の口を塞ぎ得るとも其の時は石も草も木も皆一齊に叫ぶであらう」と拍手喝采を浴びる法學博士末廣重雄太郎氏は起つて「憲法行政兩部の諸方面から痛論し「人として向上せんとする思想を阻止するは不可である、保安上よりも人類の進化を遮ることは寧ろ危險に導く」と擧げ「我國に於けるビスマークの過激思想に對する政策の愚に失敗せる例證を引き「平和と自由の精神に悖る法案には反對する」と述べて原案裡に隱藏せんとするや大杉榮氏と入替つた同志近藏憲次氏は「原案の中から『過激あり』と叫び『先輩、博士の講演中』と云はせも果てず鎗町巡から制止された私服の刑事に 依つて拉し去られ、場内忽ち一騒ぎ起らうとしたが、大の阿部警視が代つて起ちやうと靜まつた、「日本國民は流石に 最後に 昭田穗三博士は『今度の取締法案は其の新に存在せんとする意義奈邊にあるか、朝憲紊亂も暴行、不法の行爲等の條項も既存法律に見出されてはないか』と說く所は經濟に世界に或は社會制度に關く學究的であつた爲めか聽衆はポツ〳〵立ち掛ける 此の時大杉氏は突起つて『諸君學者に敬意を表する爲め暫く聽し給へ』と 叱鳴る 博士は論を進めて『斯く吟味すれば此の法案は矛盾が甚だしい社會主義も無政府主義も共産主義乃至は過激思想の何たるかを理解せざる當局が然も新代の現狀を想れる』と結び『朝憲紊亂』の文字は『君は金持だから……』と野次が入る『抑思想的運動が如何なるものか先づ民衆の心理を研究しなければならぬ云々』と說けば『聽聽でやれ玆は資本主義の教室ではない』と二階の 一隅に 頑張つた數名が頻に拳を擧つたが『此の法案を速かに政府が撤回せられん事を望む』と結んで拍手が起つた續いて永井代議士登壇『恐らく此の法案が議會を通過すれば今日玆に登壇した者の大部分は檢擧されるであらう』と前提して『天よりも高きは人の思想である、之を取締らんとするの不法にして不可能なるは自明の理である』と宗教改革に於けるルーテル佛國西革命に於けるルーソーの思想の偉大さを說き『若し假りに此等二人の取締が出來たとしても第二、第三のルーテル、ルーソーは生れたに違ひない此の法案の實施後吾人は恐怖時代の來たるを豫期する』と 論證を 引き、斯くの如き法案は、彼の獨逸ビスマークが制定した、社會黨鎭壓法よりも低劣なものであつて、聖壇蹂躙的に 石に鑿岡民より恰悧である日本の文明は將來がある』と云へば『君は金持だから……』と野次が入る『抑思想的運動が如何なるものか先づ民衆の心理を研究しなければならぬ云々』と說けば『聽聽でやれ玆は資本主義の教室ではない』と二階の 一隅に 頑張つた數名が頻に拳を擧つたが『此の法案を速かに政府が撤回せられん事を望む』と結んで拍手が起つた續いて永井代議士登壇『恐らく此の法案が議會を通過すれば今日玆に登壇した者の大部分は檢擧されるであらう』と前提して『天よりも高きは人の思想である、之を取締らんとするの不法にして不可能なるは自明の理である』と宗教改革に於けるルーテル佛國西革命に於けるルーソーの思想の偉大さを說き『若し假りに此等二人の取締が出來たとしても第二、第三のルーテル、ルーソーは生れたに違ひない此の法案の實施後吾人は恐怖時代の來たるを豫期する』と 論證を 引き、斯くの如き法案は、彼の獨逸ビスマークが制定した、社會黨鎭壓法よりも低劣なものであつて、聖壇蹂躙的に

大杉氏も傍聽した 昨夜の反對演說

社會運動取締法案に對し 永井、福田の諸氏が 大杉氏や痛烈な批評

政府が目下貴族院に提案中の「社會運動取締法案」反對の演說會は、昨夜六時から神田青年會館に於て開かれ、會衆約二千名に達して 溢れる 盛況であつた星島代議士の開會の辭に次いで演壇に立つた早大教授大山郁夫氏は「階級鬪爭をあれば政府が却て險を攻撃して居つた、但此夜大杉榮氏其他一派の數名が 傍聽に 來てゐたので人氣は悪く、其筋の警戒は例に依り嚴重なもの、近藏某は喧騒の際で錦町署に檢束された

教職員總掛りで 全生徒の素行調査

不穩文書の發見を出し 大阪高等商業學校

不穩文書發見として大阪嚴重で、教職員總掛にて在學生全部の素行調を査定する事となり、既に校は試驗休暇中の生徒には嚴重を期して登校を命じ、二日午前十時より全生徒を大講堂に集め「本校四十年の歷史を傷めたことは遺憾に堪へぬ」とて、今後再び斯かる不良學生を出さざるやう訓示した（大阪電話）

元老其他の要路へ 不穩文書頻々

其筋で嚴探に着手

宮家へ送るのは大抵精神病者

▼別個 の犯人であらうとし く、これは普通にペンを以て認 を中心に遂べからざる不穩の個 が多い、同時に最近に於て 書發見は急 某々二氏に宛てた者は既に政府